

ICT 機器（見守り機器）を活用しています

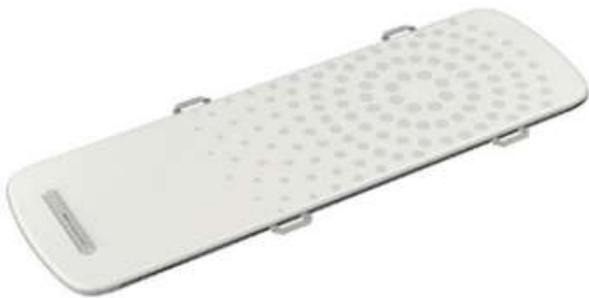
特別養護老人ホームシルバースターうなまの里では、利用者様の安全を確保し、利用者様の状態に応じた細やかな介護サービスの提供を実現するとともに、スタッフの負担軽減を図るため、ICT 機器である「眠り SCAN」及び「眠り SCAN eye」を活用しています。

「眠り SCAN」

「眠り SCAN」は、ベッドのマットレスの下に敷いて「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」の状態や「心拍数・呼吸数（推定値）」を計測・通知できるセンサーです。全床に設置しており、介護室のパソコン、タブレット端末及びインカムで通知を確認できるようになっています。

「眠り SCAN eye」

「眠り SCAN eye」は、居室にカメラを設置して映像を記録するとともに、「眠り SCAN」が検知した利用者様の状態を映像とともに確認することができるシステムです。「眠り SCAN eye」については、安全確保のため見守りが必要な利用者様の居室に、必要に応じて設置することとしております。介護室のパソコンとタブレット端末で確認できるようになっています。



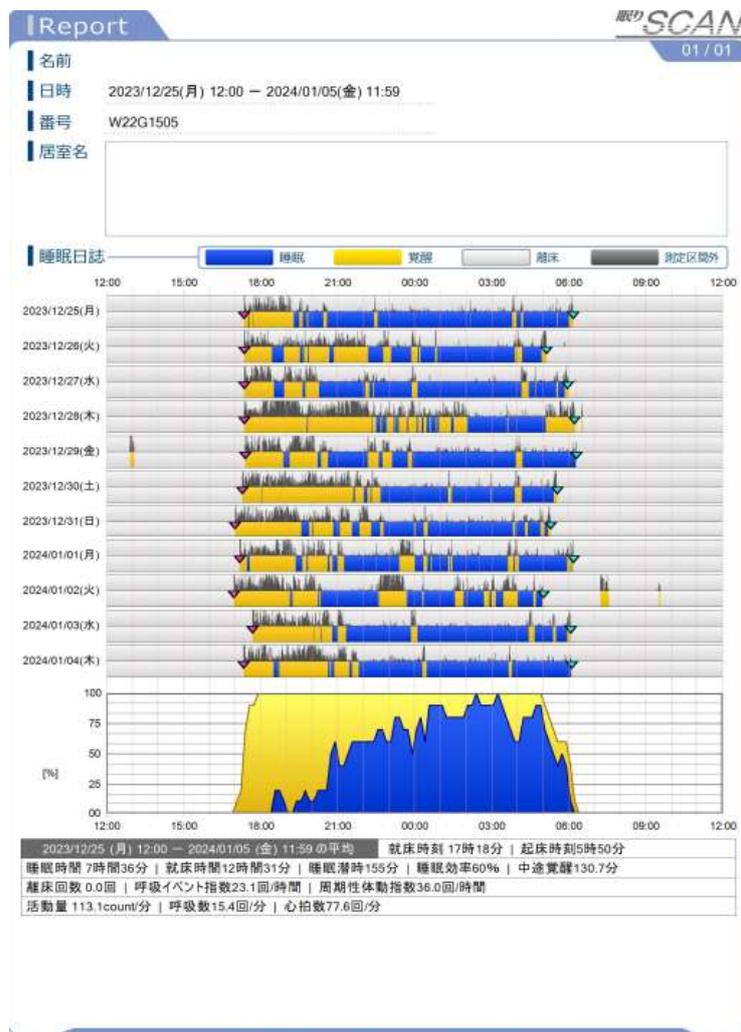
「眠りSCAN」



「眠りSCAN eye」



「インカム」



PARAMOUNT BED

「眠りSCANレポート」

機器でモニターした利用者様の睡眠、呼吸及び心拍数等の情報を次の目的で利用しています。また、これらの情報を必要に応じてケアマネジャー及び医療機関等に提供しています。

- ・ 利用者様の生活習慣や状態にあわせたケア・見守り
- ・ 利用者様に適したケアプランの検討・提供及びその効果の検証
- ・ 利用者様の体調変化の気づき
- ・ その他、利用者様への介護の提供全般